

7月16日のゲリラ豪雨に伴う災害について

土尻川砂防事務所管内の信里雨量観測所で7月16日の夕方7時過ぎから最大で**1時間に73mm**、降り始めから**2時間で106mm**という豪雨に見舞われ、管内の長野市信更地区、篠ノ井地区で**大きな災害が多数発生しました。**

しかし、大雨が降り始める前の18時14分、長野市に大雨警報と洪水警報が発令され、**土砂災害発生前の19時45分**、長野・飯綱町・鬼無里戸隠に**土砂災害警戒情報が発表**されており、幸いにも**人的な災害は発生しませんでした。**

土尻川砂防事務所では、7月16日夜半から翌日の現場調査体制を整え、7月17日土曜日の朝から長野市職員の皆さんと一緒に長野市篠ノ井、信更町で現地調査、及び住民の避難誘導を行い、**緊急に工事を実施しなければならない被災箇所では**、休日・夜間の緊急時にも対応していただける**地元の建設業者に連絡し、応急工事を実施しました。**

また、長野建設事務所で撮影した航空写真の提供を受け、土砂崩落箇所下流の危険家屋の避難状況を信更支所に照会し、安全を確認しました。

砂防堰堤やコンクリート擁壁等の**砂防施設が整備されていた所では**、**下流の道路や民家を土石流などから護ることができました。**



土石流をせき止めた砂防堰堤



土砂を捕捉したコンクリート擁壁

今回のようなゲリラ豪雨は、いつ、どこで降ってもおかしくありません。**普段から土砂災害に対して備えておきましょう**(当ホームページのトップページの4. 土砂災害をご覧ください)。

被災状況写真



信更町灰原における倒壊家屋と床上浸水家屋



篠ノ井新田における床下浸水家屋



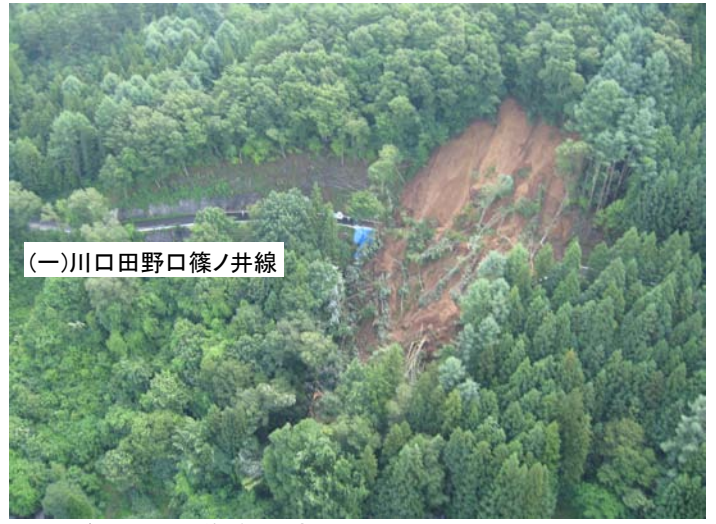
信更町田野口における床上浸水家屋



信更町三水では土石流で建物が全壊



信更町田野口では土石流が道路を塞ぎました



信更町灰原では山腹崩壊による土砂が民家や道路を襲いました



信更町三水では清水神社付近を通行中の車が土石流に巻き込まれました



普段ほとんど水の流れない沢に人の背丈の2倍以上の高さの土石流が既設の堰堤を破壊しました

管内で確認された主な崖崩れや土石流による災害箇所は、22箇所(うち家屋倒壊2棟、床上浸水3棟、床下浸水3棟)です。

土尻川砂防事務所では、保安林を管轄する長野地方事務所林務課や県道を管理する長野建設事務所など関係する機関と相談しながら、県砂防課を通じて国土交通省に、災害関連緊急事業等で早期に復旧工事に着手できるようにお願いしています。

職員一同、地域の皆さんが一日も早く普段の生活に戻れるように頑張っています。

長野市 篠ノ井地区、信更地区で発生した土砂災害

平成22年8月26日

長野県 砂防課

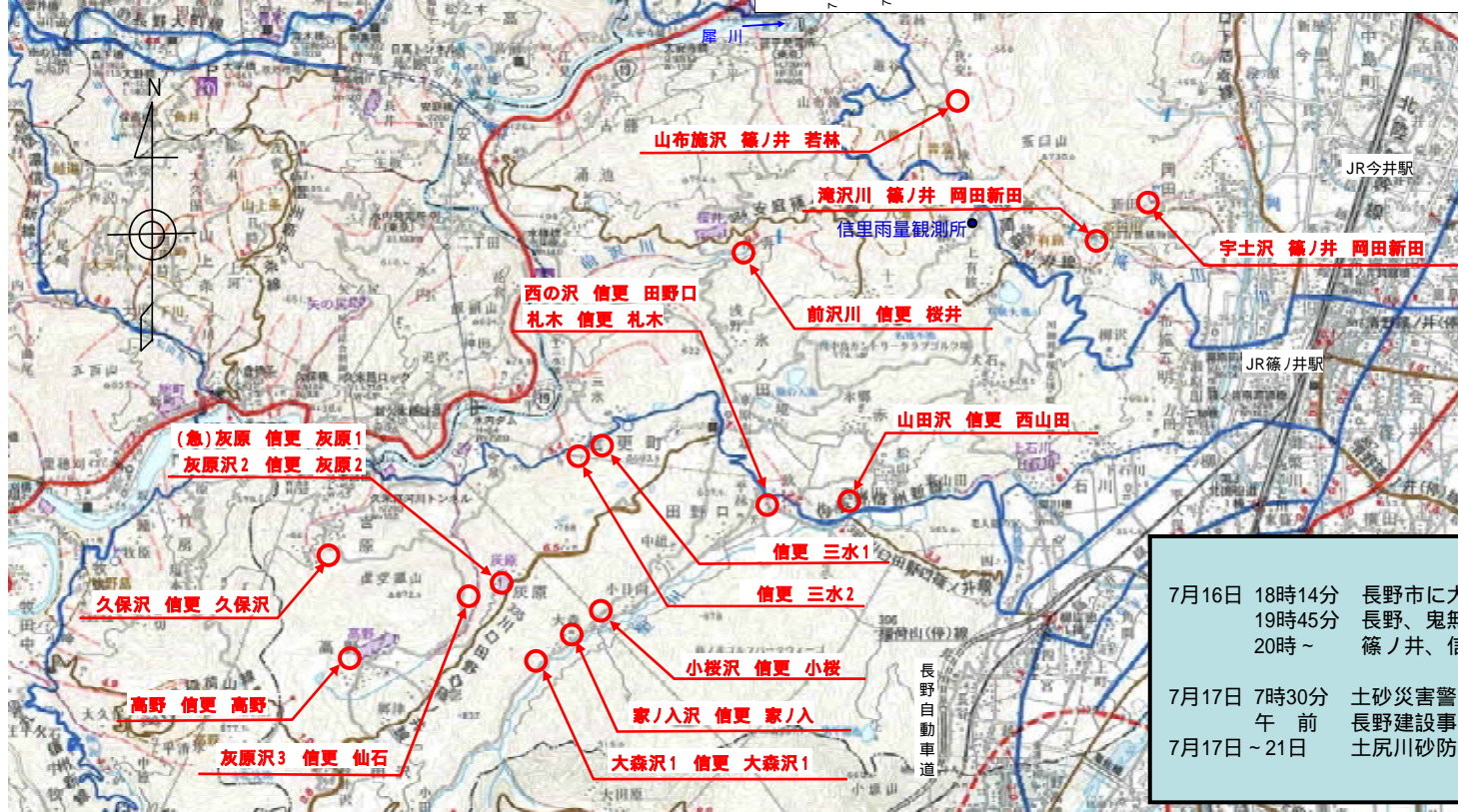
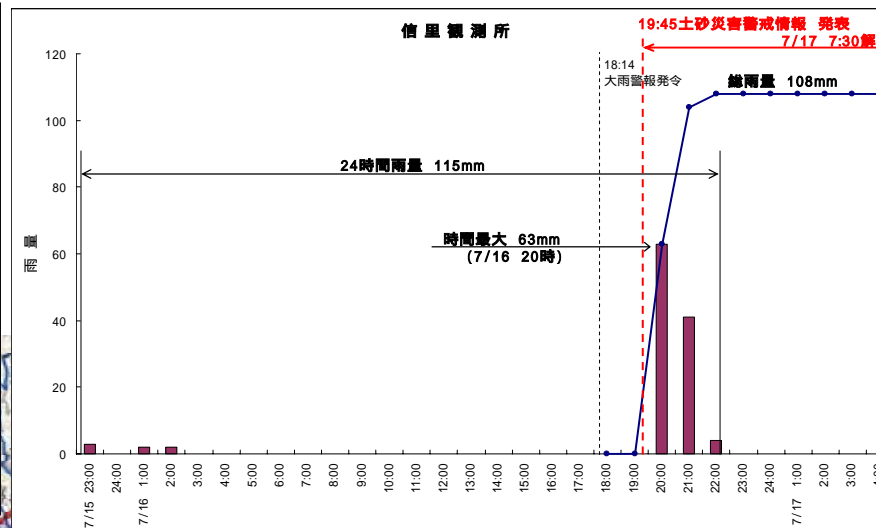
長野市 篠ノ井地区および信更地区

発生日時：平成22年7月16日 時刻不明

現象：土石流 14箇所
がけ崩れ 3箇所

被害状況：家屋倒壊2戸、一部損壊1戸、
床上浸水2戸、床下浸水2戸
人的被害無し

避難状況：篠ノ井 岡田 自主避難 16人
篠ノ井 岡田新田 自主避難 12人
信更町 灰原 自主避難 2人



信里観測所(砂防)
時間最大 63mm/h (7/16 20時)
3時間雨量108mm (時間最大)

7月16日 18時14分 長野市に大雨警報発令
19時45分 長野、鬼無里戸隠、飯綱町に土砂災害警戒情報発表
20時～ 篠ノ井、信更町の周辺の道路で通行止め箇所が多数発生

7月17日 7時30分 土砂災害警戒情報解除
午前 長野建設事務所が上空からのヘリ調査を実施

7月17日～21日 土尻川砂防事務所が現地調査

長野市 篠ノ井地区、信更地区で発生した土砂災害

平成22年8月26日

長野県 砂防課



灰原1



信更町灰原地区 土石流状況(7月17日撮影)



滝沢川



滝沢川 篠ノ井 岡田新田



(急)灰原1 信更町 灰原1



西の沢



西の沢 信更町 田野口



山田沢 信更町 西山田

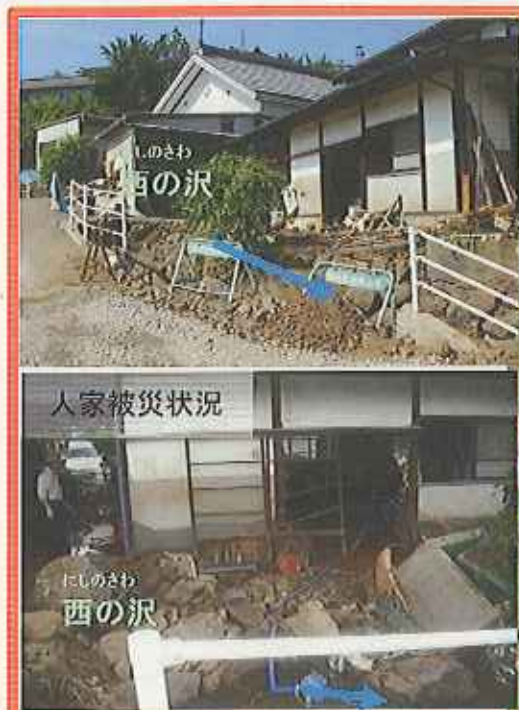
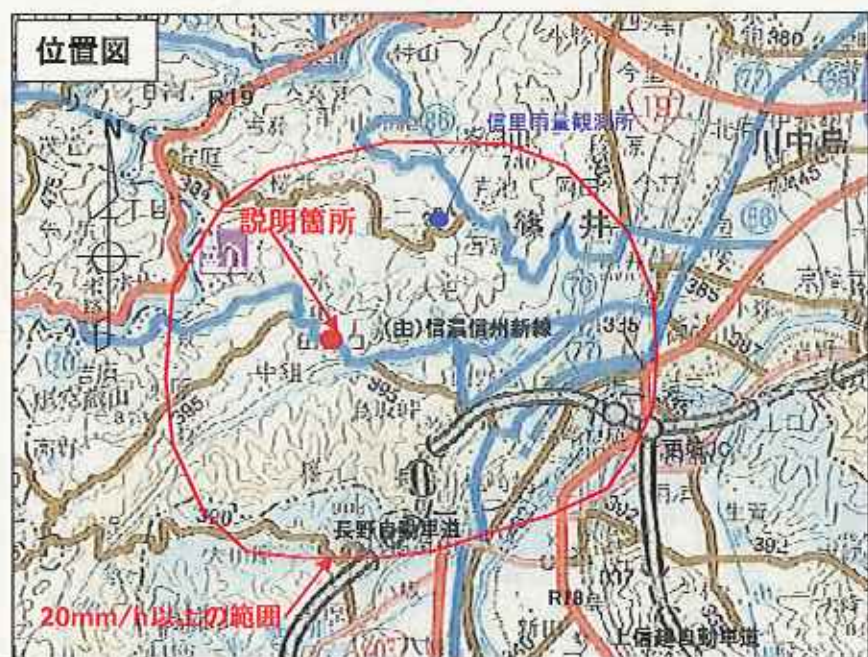


久保沢 信更町 久保沢



信更町 三水1

平成22年7月豪雨における砂防施設の効果事例について (3) 長野市信更町 平成22年7月16日



○土砂流出状況

河川名	東の沢	西の沢
砂防堰堤	1基	2基
流出土砂量	500m ³	500m ³
砂防堰堤による捕捉量	500m ³	100m ³
下流への流出量	なし	400m ³
主な被災状況	被害なし	人家被災 市道被災
備考		土石流は既設堰堤下流で発生

凡例: ■■■被害のなかった溪流、■■■■被害のあった溪流



昨年度完成した東の沢砂防堰堤が約500m³の土砂や流木を捕捉し、下流の人家等保全対象を土石流から守りました。